

## ユーザ事例

# 高精度の製品データ配信により販売機会を拡大 ～セマンティックレベル(意味レベル)のデータ統合サービス～

## 大手総合電気メーカー様での統合製品カタログ情報の構築・発信プロジェクト

グローバルで製品展開を行う大手総合電機メーカーA社では、競合他社との激しい競争にある中、WEBサイトによる製品情報をスムーズかつ正確に公開し、ブランディング(個人ユーザーの囲い込み)を行うことで、日本における成功を全世界へ展開させることが急務であった。

### A社の課題

A社内部では、グローバルWEBの開発・立ち上げを着々を実行しながらも、そもそも「公開すべき製品情報がない・集約されていない」という根本的な問題を抱えていた。

### カタログ情報発信の問題点

製品カタログ情報のデータソースがないことにより、各国でそれぞれにデータを入力し、入力した製品情報を各国ごとに翻訳したもの

を製品カタログ情報としていた。その結果、製品における文字表現や情報量も各国でバラバラとなり、広告戦略上の訴求ポイントはずれ、各国の情報公開は日本よりも遅くなるという構図を生んでいた。(図1)

### 意味レベルの整理・統合\*

例えば、製造部門が言う「Calling LED＝LS-231C(RED)」を、「着信お知らせイルミネーション＝赤」とするなど、違う表現だが同じ意味として捉える必要があるデータを、意

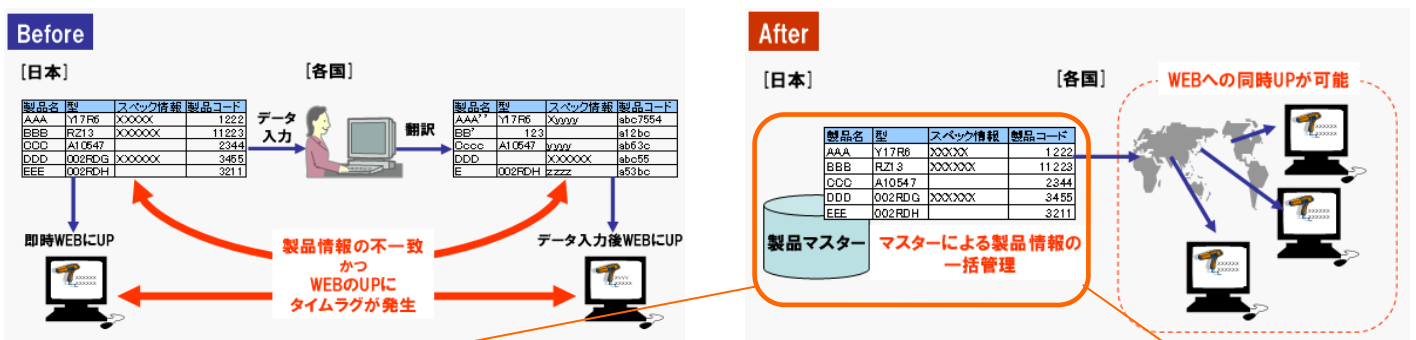
味レベルでそろえて製品カタログ情報の構築を行った。(図2)

### 効果

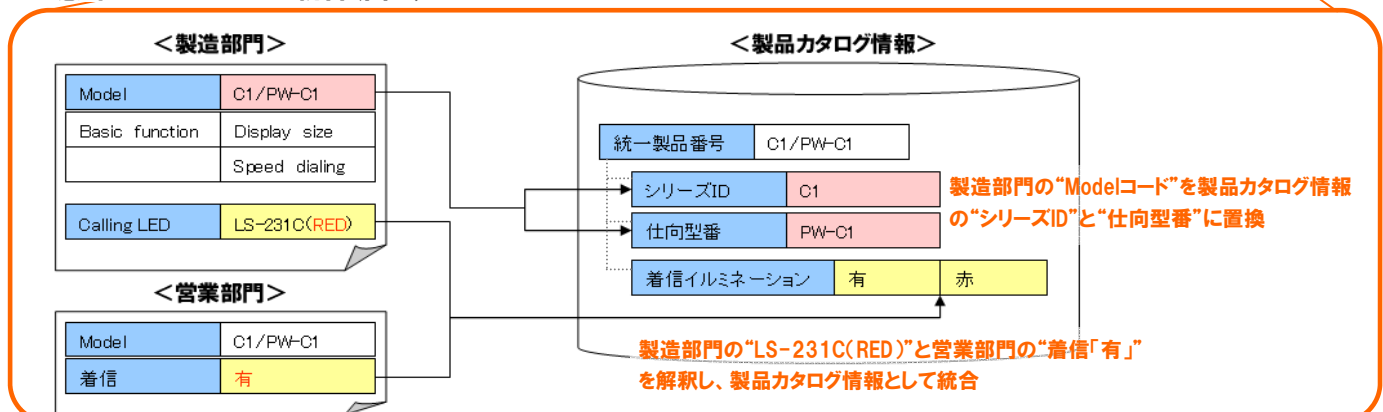
製品の製造部門・営業部門が発信する情報から、統合製品カタログ情報が作られることにより、グローバルレベルでの1データソース・マルチユースが実現した。意味レベルで情報の質がそろった製品マスタを利用して、製品の発売と同時に、日本だけでなく各国同時にWEBによる情報公開を可能にした。

## 対策のポイント

### カタログ情報配信の問題点イメージ(図1)



### 意味レベルでの整理・統合(図2)



\*意味レベルの整理・統合...機械変換(データコピーやカラム変換など)ではなく、データ表現は違っても同じ意味または同じ分類であることを軸に、データ整理・統合を行うこと。

# セマンティックレベル（意味レベル）のデータ統合サービス

本サービスは、ロケーションレベルやノーテーションレベル統合では解決できなかった、システムごとに持つデータの意味や粒度の相違、記述間違いや欠落、重複などをセマンティックレベル（意味レベル）で統合を行い、システム統合・更改時の「スムーズなデータ移行」と「お客様の情報活用をサポート」するサービスです。

## サービス内容

- ◆データ統合の方針・計画・手順策定  
現状データの所在、保管形式および現状データの「中身」の状態を把握するとともに、データ統合後のあるべき姿を明確化し、データ統合の方針および計画を作成します。データ統合の具体的な手順を作成します。
- ◆データ統合の実行  
手順に基づき、標準類やツールを活用した効果的・効率的なデータ統合を実施します。
- ◆新業務運用開始・業務の定着  
活用可能なデータ状態を維持できるようにするための、組織・体制定義や、運用マニュアル化、教育支援を実施します。

## 対象データ

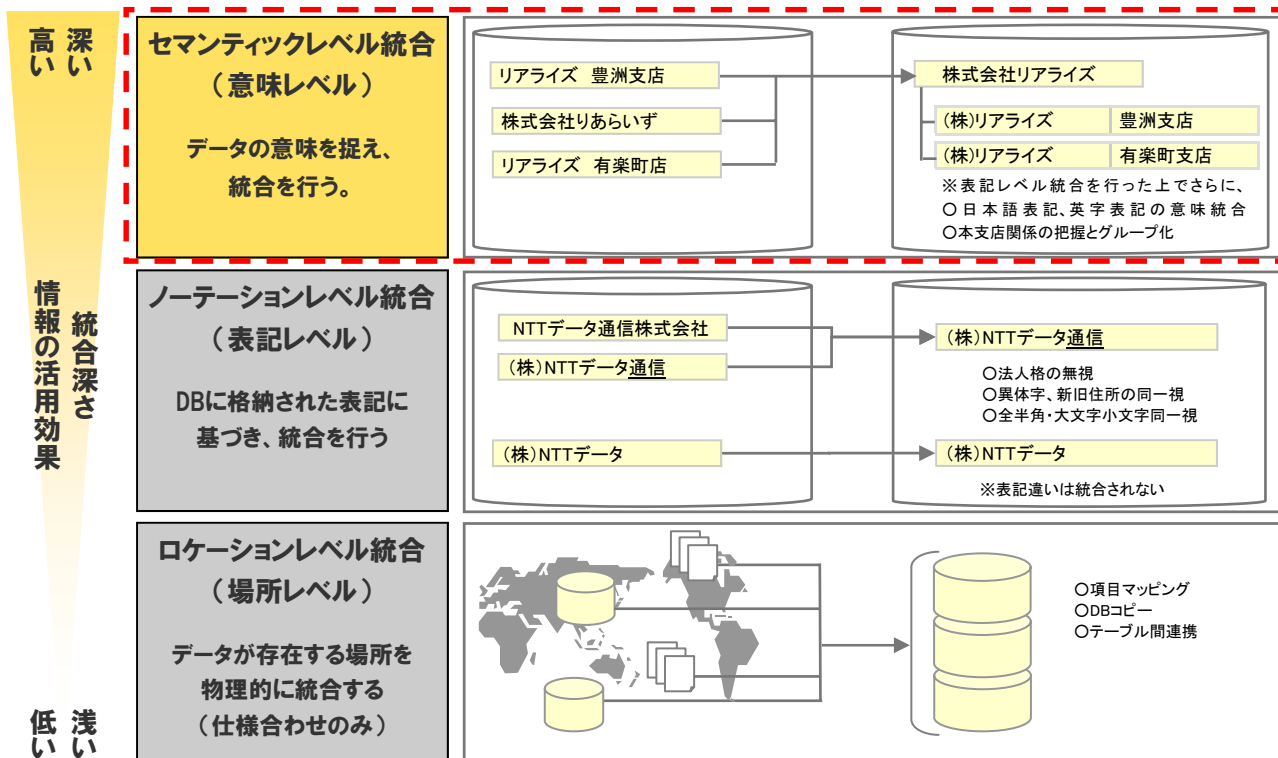
「契約情報」、「カタログ・マニュアル情報」、「設備設置情報」、「法人（取引先）情報」を対象とします。以降、「製品情報」、「部品情報」などに順次、対象データを拡大する予定です。

## 標準を活用した方法論

2010年8月現在、リアライズの500以上に及ぶプロジェクト実績に基づき、知識体系化・ツール化を独自に開発しました。本サービスは当該標準・知識体系・ツールを活用して効果的・効率的なサービスを提供します。

## データ統合の独自の3段階レベル

通常2段階で行われるデータ統合について、本サービスでは、最も情報活用効果が高くなるセマンティックレベル（意味レベル）のデータ統合レベルまでを実現します。



## 製品・サービスに関するお問合せ先

株式会社 リアライズ  
マーケティング・営業部 TEL:03-5548-2193 MAIL:sales@realize-corp.jp  
HP:http://www.realize-corp.jp

※提供サービスの仕様は、予告なく変更する場合があります。  
※文中に記載されている実在する商品・サービス名、および会社名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

変える力を、ともに生み出す。  
NTT DATA グループ

NTT DATA